

9月定例議会 町政報告

町政報告要旨

▼令和3年度普通交付税交付額の決定

町の普通交付税交付決定額は16億6,796万1千円で、前年度当初算定額17億8,625万1千円と比較し、1億1,829万円、6・6%の減となっています。

また臨時財政対策債発行可能額は2,578万4千円で、対前年度比8,427万3千円、76・6%の減となりました。この2つを合わせた実質的な交付税では、対前年度比2億256万3千円、10・7%の減となっています。

基準財政需要額において、高齢者保健福祉費における65歳以上人口の減や、包括算定経費における単位費用の減などがあったものの、国の地方財政計画に基づく「地域デジタル社会推進費」が昨年度に引き続き措置されたこと、また、臨時財政対策

債への振替額が前年度より大幅に減った結果、前年度比1・8%の増となりました。

基準財政収入額では、法人税割を主要因とする市町村民税の増や、法人事業税交付金などの増により、前年度比20・6%の増となりました。

基準財政収入額の増加が、基準財政需要額の増加額を上回ったことにより、普通交付税決定額においては、前年度比6・6%減での交付となりました。

臨時財政対策債は、地方財源の不足に対処するため、地方財政法の特例として発行するもので、その元利償還金については、翌年度以降の基準財政需要額に全額算入されます。

令和4年度予算において、普通交付税額は15億5千万円、臨時財政対策債は9千万円を計上していたことから、これらをあわせた留保財源は5,374万5千円となっています。

令和4年第5回小坂町議会が9月8日から16日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等23議案が可決されました。

▼普通共用林野の運営状況

林料徴収関門については、今年も樹海ライン沿いの5か所に設置し、5月20日から6月15日までの27日間で行いました。

期間中の入林者数は、延べ人数で、町外者3,201人、町内者655人、合計で3,856人でした。昨年度と比べると、町外者は141人の増、町内者は37人の減、合計で104人の増となりました。

なお、入林許可証は、286人の町民に交付しています。

収支決算見込みは、収入が約402万円に対し支出は約347万円、およそ55万円の黒字となる見込みです。

▼宿泊助成券事業の抽選結果

宿泊助成券事業は、新型コロナウイルスの影響を受けている宿泊観光客を呼び戻すために、秋田県民を対象に、5,000円の宿泊助成券を1人最大2枚まで応募できるものとし、6,000枚分を発行したものです。

6月8日から6月30日まで郵便ハガキによる受付を行い、秋田県内すべての市町村から11,504通の応募があり、抽選を行った結果、当選者3,000人を決定して、助成券を当選者に送付しました。

応募者が一番多かったのは秋田市で、全体の45%、次に大仙市、由利本荘市の順となっており、競争率は2・6倍となりました。昨年も同様の宿泊助成を行いました。昨年度より2,042通多い状況でした。

▼日本で最も美しい村連合定期総会・学習会

6月29日から7月1日までの3日間にわたり、「日本で最も美しい村連合」定期総会・学習会2022が康楽館を主会場に開催され、全国の町、村、各地区、会員



主な議決事項

●認定

◆令和3年度小坂町一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算

●条例

◆小坂町下水道事業の設置等に関する条例

◆小坂町下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

●条例の一部改正

◆小坂町職員定数条例

●その他

◆消防ポンプ自動車購入契約締結

◆人権擁護委員候補者の推薦(1件)

◆小坂町情報公開審査会の委員選任(5件)

◆小坂町教育委員会の委員選任(1件)

●補正予算

【令和4年度】

◆一般会計(第4号)

◆国民健康保険特別会計(第1号)

◆介護保険特別会計(第1号)

◆歯科診療所特別会計(第1号)

◆一般会計予算(第5号)